

輸出事業計画

※申請者名：株式会社ますやみそ 品目：味噌、調味食品

1. 輸出における現状と課題

【現状】

- ・ 当社は中四国エリアの売上・シェア率 1 位の味噌メーカーであり、味噌を原料にした調味味噌、おかずみそは日本国内のみならず海外市場にも需要が見込めると判断し 2000 年より海外市場に向けて輸出取組を開始した
- ・ 国内は少子高齢化で味噌需要が微減しており、海外市場は一部価格競争の激化で安価な商品が出回っているが、現地に赴き自社の強みを生かした商品力、営業力でその国、地域に合う活動を実行している
- ・ 輸出品目としては米みそ、麦みそ、調味みそ、おかずみそ、鍋の素、ラーメンスープ等である
- ・ 現在はアジア圏・北米の約 10 カ国と、ヨーロッパ圏の複数国に対して継続した輸出を実施している

【課題】

●加工

- ・ 海外飲食店でも使用しやすい容器での味噌の輸出を検討しているが、現在エア式充填機しかなく、充填口の経が小さいため生産能力が低い
- ・ 小袋のラーメンスープ製造・輸出にあたって小袋へのロット・賞味期限の印字が必要であるが、印刷機が 1 台のみである

●物流

- ・ 物流コストが大幅に上昇し、さらに輸送期間が長くなっている

●販売

- ・ コロナ禍により現地訪問ができず、オンライン商談しかできておらず価格中心になる傾向がある。試食が困難なため正確に自社商品をアピールできない

2. 輸出事業計画の取組内容

●加工

- ・ 生産能力の高い充填機を導入する
- ・ 小袋のラーメンスープについて、味・現地法規制に合う原材料・商品パッケージ等改良を実施する
 - 小袋のラーメンスープ増産のため、小袋への印字可能な機械に改良する
- ・ 現地のニーズを把握し、現状ないフレーバーの商品を作成する

●物流

- ・ 出荷する港含めて安価に輸送できるルートを模索している

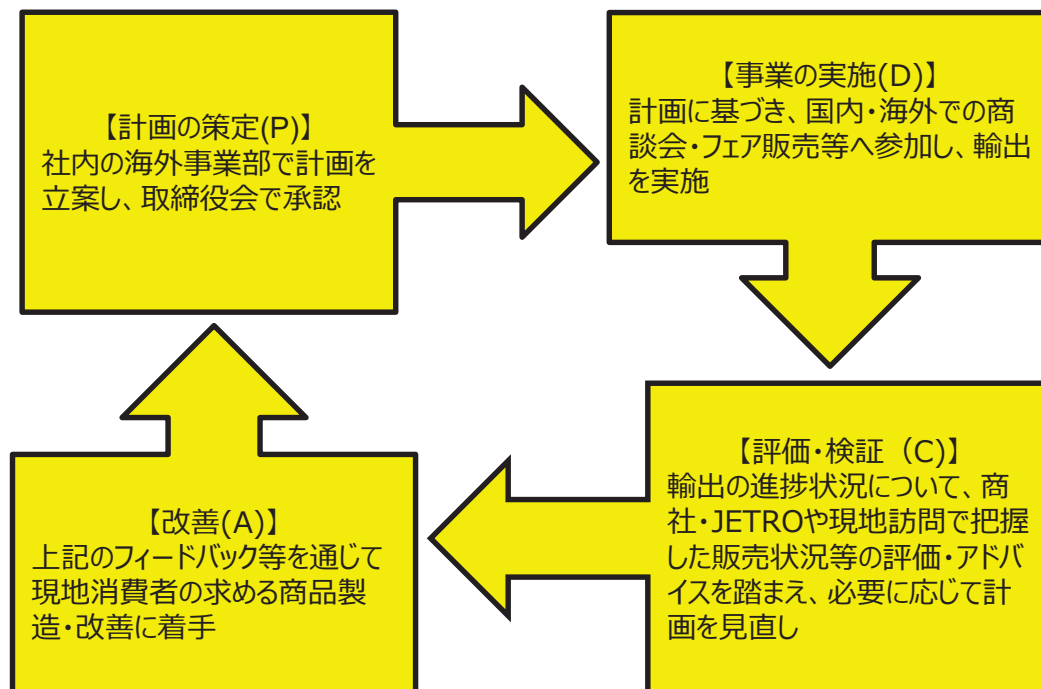
●販売

- ・ 新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら渡航が可能になれば現地に訪問する
- ・ オンライン商談の中で顧客ニーズを把握し、改良を加えることで差別化を図る

輸出事業計画

※申請者名：株式会社ますやみそ、品目：味噌、調味食品

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制



4. 輸出目標額

品 目		現 状 令和3年度=2021年度 (2021年5月～2022年4月)	目標年 令和9年度=2027年度 (2027年5月～2028年4月)
味噌	輸出額(千円)	1,217	14,000
	輸出量 (KG)	1,570	20,000
	輸出先国	台湾、タイ	台湾、タイ
調味食品	輸出額(千円)	1,541	14,000
	輸出量 (KG)	900	10,000
	輸出先国	イギリス、チェコ	イギリス、チェコ

- ・味噌、調味食品以外の他品目を含め、令和9年度に6,000万円を目標額とする